

令和7年度 第1回リハビリ部会研修レポート

記載者 介護老人保健施設 みどり荘
山藤 千夏

【日時】 令和7年10月26日(日)

【会場】 山口南総合センター 多目的室

【参加者】 19施設 33名 (リハビリ職 31名 その他 2名)

【テーマ】「ポジショニングについての基礎知識」 「負担の少ないポジショニング技術を学ぶ」

【講師】(株)アイソネックス 取締役副社長 山本 勉 氏

【内容】

10:00～11:00 座学

・椅子や車椅子座位での座圧について、大腿の下に手を入れるだけでも坐骨部分の圧を他へ逃すことが出来るといったような、実際に手を入れてみたり、クッションを挟んでみたりと体験を交えながらの説明。

・車椅子クッションの素材別の特徴などの説明 など



11:00～12:00 4グループに分かれての実技

ナーセントパット、ナーセントロールなどを用いて、ポジショニング方法を学ぶ。

・ベッド臥床し、実際に全員が体験する。通常、ポジショニングをする方の体験が多く、される側を体験することが、一番大切であることを教えて頂く。ポジショニングをする際にどこに注意し、除圧をすれば良いのか。それぞれのグループが試行錯誤しながら考え、それに対してのアドバイスを頂く。

・主に仙骨の除圧方法について

異素材を多く使うと不快であるため、空間部分を埋めるために、身体の下でなく、マットレスの下にタオルを入れるといった技も伝授して頂く。

13:00～14:10 午前に続き、グループに分かれての実技

・完全なる側臥位での除圧方法について

・ベッド上でギャッチアップして食事を摂る際のポジショニング方法について

足底(土踏まず部分)に接地面を持たすことで、姿勢が安定し、噛む力が増すことなどを教えて頂く。



14:20～15:00 グループに分かれ、各施設で困っている事をディスカッションし、発表する

様々な意見が飛び交っていた。事例での悩み相談が主であったが、どの施設でもポジショニングクッションなどの資源不足が課題に上がっていた。

以上を研修報告とする。実際にご利用者様の立場が体験出来、とても良い機会となった。

講師の山本先生、研修会に参加して頂いた皆様ありがとうございました。